

## 5-1. 商店数・従業者数・年間販売額

大阪の商業（卸売業・小売業）について傾向を概観しますと、商店数は昭和57年をピークに減少傾向が続いています。従業者数及び年間販売額については、平成3年以降減少傾向にあり、16年(速報)においてはそれぞれ98万人、60兆円となっています。

年	商店数 (店)	従業者数 (人)	年間販売額 (百万円)
昭和54	163,523	918,781	53,169,873
57	173,456	998,861	70,109,079
60	163,525	995,285	76,527,003
63	165,755	1,078,423	79,973,559
平成3	164,438	1,122,947	98,117,511
6	153,599	1,103,060	85,544,032
9	142,640	1,044,275	82,880,274
(11)	142,380	1,108,582	76,602,307
14	126,120	1,049,502	63,063,743
(16)速報	120,357	976,957	59,997,522

(経済産業省「商業統計表」)

(注) 平成11年商業統計調査は、全国のすべての事業所・企業を対象とした総務省所管の「事業所・企業統計調査」との同時調査（調査票は両調査共通の簡易な様式）で実施、平成16年商業統計調査は、「事業所・企業統計調査」「サービス業基本調査」との同時調査で実施しています。

また、平成11年調査、16年調査は簡易調査であり、販売額の商品分類を、現行の5桁分類から3桁分類へと大括りなものとするとともに、販売額内訳の上位5分類についてのみ調査を行っているため、産業格付け方法を変更しています。なお、16年の値は速報値です。

